

競技注意事項（案）

1 競技について

- (1) 本競技会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、および本大会申し合わせ事項によって運営する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集場所は、第4ゲート付近器具庫内に設ける。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。競技者本人がナンバーカード、競技用靴及びシャツ、バッグ等の商標チェックを受け最終点呼を受ける。ただし2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
 - c 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
 - d 棒高跳の競技者は召集の際に「アップライト申告書」（招集所に置く）を競技役員に提出すること。
 - e 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - f 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で招集を受けること。ただし、第2種目以降は混成競技者控所（雨天走路横トレーニングルーム）にて点呼（トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前）をとった後、混成競技係の誘導により競技場所へ移動する。
- (3) ナンバーカードについて
 - a ナンバーカードは主催者が用意したものを、そのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。
 - c 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」と順位を示す別ナンバーカード（胸部のみ）を使用する。別ナンバーカードは、混成控室で混成競技係が配布する。
 - d 3000m以上の種目については、別ナンバーカードを使用するので、競技開始1時間前までに招集所で受け取り、招集開始時刻までにつけておくこと。その際、正規ナンバーカードを持参すること。
- (4) 競技規則162条8により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- (5) イエローカードの取り扱いについては競技規則162条5の国内適応とする。
- (6) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (7) 組・レーン順および試技順について
 - a トラック競技のレーンおよびフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
 - b トラック競技の準決勝・決勝のレーンは番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼り出す。
- (8) リレー競技について
 - a オーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
 - b リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
 - c 4×400mRの第2、3走者は左腰に、第4走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付ける。
- (9) 跳躍競技のバーの上げ方について
 下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。
 1位及び全国大会出場の実績者は、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって行う。

走高跳	男子	練習 1m80 1m90	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後 3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 1m58 1m61 以後 3cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m45 1m65	1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m15 1m35	1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳	男子	練習 3m60 4m00 4m40	3m80 3m90 4m00 4m10 4m20 以後 10cm
	女子	練習 2m30 2m70 3m00	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 以後 10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする ※棒高跳の練習はゴムバーを使用する。

(10) フィールド競技について

- a フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- b コーチングエリアを設ける。そのエリア以外では助言等は禁止する。

(11) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、コーチングエリアで競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用することはできない。

(12) 競技用具について

競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用のポールは検査の上、私物の使用を許可する。

2 表彰について

- (1) 各種目8位までの入賞者は、表彰を行うので競技役員の誘導により表彰者控所（競技場玄関ロビー奥）に集合すること。
- (2) 男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。

3 応援について

- (1) メインスタンドでの集団応援、およびメインスタンド最前列・通路に立っての応援は禁止する。芝生スタンドでの集団応援については、実施種目によって禁止する場合があるため、競技役員の指示に従うこと。ホームストレート延長線上での応援は禁止とする。
- (2) メインスタンドでのテント設営を禁止する。芝生スタンドでテントを設営する場合は、中段から上部の芝生に設営すること。
- (3) 横断幕・のぼり旗などの応援布は、メインスタンドおよび芝生スタンドの最上段のフェンスのみ許可する。

4 練習について

- (1) 原則として、本競技場・補助競技場および雨天走路を使用し、事前に連絡した「練習会場使用日程表」と「練習会場注意事項」に従い行うこと。
- (2) 投てきの練習は、必ず各学校の監督が付添うこと。
- (3) 練習中の事故は、各学校の引率者の責任で対処すること。

5 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

6 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。規定外のものは見えないように対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) 競技終了後は第1ゲートから出てスタンドの外側を通ること。メインスタンド下通路は、競技者の通行ができない。トラック競技終了後は第1ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、フィールド競技が終了し競技役員誘導の退場の際は認める。入賞者は競技役員により表彰控場所へ誘導する。
- (4) 本競技場および補助競技場の開場について
6月13日（木）の主会場の開場時間は11：15とする。補助競技場の開場時間は11：00とする。6月14日（金）～16日（日）は7：00とする。
- (5) 学校受付は、松本平広域公園陸上競技場正面玄関ロビーにて行う。
6月13日（木） 11：00～17：00、6月14日（金）～16日（日） 8：00～16：00
- (6) 本競技場の場所取りは、6月13日（木）10：15～10：45までに入場順を決める抽選を正面玄関前で行い、11：00より抽選結果順に各校2名以内で入場する。ただし、メインスタンド、雨天走路は場所取りができない。テントの設営場所は、本競技場芝スタンド、補助競技場の芝内でフィールド以外、本競技場と補助競技場の間の林の中とする。ただし、運動公園事務所周辺、本競技場正面入口前、体育館周辺の芝内、公園内ランニングコース内、マレットゴルフコースは禁止する。
- (7) 混成競技者控室は、本競技場メインスタンド1階雨天走路横のトレーニングルームに設ける。
- (8) 写真・ビデオ等の撮影について撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。